

「出題の意図」

選抜区分	2021年度（選抜区分：学校推薦型選抜） 文学部 比較文化学科（科目名：小論文）
出題の意図 （評価のポイント）	<p>問題Ⅰ：問4</p> <p>問題文の主題に関して意見を英語で述べさせることにより、英語の読解能力、英文の構成能力（英単語、英文法、英語構文に関する知識）、発想力、論理的思考力を問うた。</p> <p>問題Ⅱ：問2</p> <p>問題Ⅱは、大門正克『語る歴史、聞く歴史—オーラル・ヒストリーの現場から』より、一部の文章を抜粋して出題をおこなった。問題文全体においては、聞き書きをおこなう著者の考え方の変容を時系列で整理したうえで内容を的確にとらえる力が問われている。</p> <p>問2の解答のポイントは以下の2つである。解答の前半部分で、「listen」の説明を下線部付近から抜き出せるかが、1つ目のポイントである。「ask」を比較対象として、効果的に説明できるとさらによい。</p> <p>解答の後半部分で、身の回りの具体例を引き合いに出しながら、意義を明確に述べられているかが、2つ目のポイントである。問題文は、語られる声としての言葉、あるいは人生というキーワードとともに、歴史を知る・書くということをテーマにしている。それに呼応する事例がまずは想定されるだろう。ただし具体例はそれに限らずともよい。「人間関係のなかで信頼を得る」、「自分の思いこみが修正される」など様々な意義が想定される。また、挙げられる自己体験は、成功例もあれば失敗例もあるだろう。</p>